

研究構想シート		学校名	出雲市立西野小学校
		氏名	錦織 政人
A 研究主題 地域に学び、自ら問い続け、よりよい社会を考える子どもの育成 ～問いと知識を明確にした学習過程の在り方～			
B 研究の目的 地域に学び、自ら問い続け、よりよい社会を考える子どもの育成のあり方を明らかにする。			
C 子どもの実態 ○自分の考えをもち伝えることが難しい。 ○対話を通し問いについて問題解決をしていくことが難しい。 ○学力の差がある。	E 手立て・内容（研究仮説） 単元を通して目指す子どもの姿を明確にし、社会的事象の見方・考え方、獲得させたい知識と問いや資料との関係をつなぎ（知識と問いの構造図）、単元構想・授業づくりを行えば、自ら問い続け、持続可能な社会の担い手となる未来志向の子どもが育つだろう。		D めざす子どもの姿 ○地域の「ひと・もの・こと」に関心を持ち、地域のよさに気づく子ども ○社会的事象の見方・考え方を働かせながら問題を追究したり、解決したりする子ども ○他者と協働しながら考えを深める子ども
	F 検証方法 （1）本教材に関わる子どもの実態 ① 教材に関わる子どもの姿 ② 単元を通して目指す子どもの姿 （2）子どもの思考と学習問題をつなぐ単元づくり ① 問いを明確にした単元構想（地域教材） ② 子どもを追究に向かわせる学習問題 （3）問題解決に向け、自ら問い続ける授業づくり ① 問いから生まれる学習場面 ② 互いの考えを深める対話		
	G 研究計画 1学期 研究授業・協議 8学級 2学期に向けた指導案検討 教育実践や取り組みの研修会・報告 夏休み 指導案検討・共有 2学期 全国小学校社会科研究大会 3学期 研究のまとめ		